

2017年12月

江ノ島電鉄における長期休暇時の混雑理由および混雑状況改善

案の提案

経営学部 経営学科 堀田ゼミ
B4R11085 佐藤 史弥

【卒業論文概要】

神奈川県藤沢市と鎌倉市をつなぐ江ノ島電鉄《以下「江ノ電」と称する》は毎年多くの観光客を乗せて走行している。江ノ島や鎌倉へ行く交通手段というだけでなく、江ノ電に乗ることを目的としてくる人も少なくない。そのため、ゴールデンウィークなどの長期休暇時には乗車待ちの長蛇の列ができ、日常的に江ノ電を利用している沿線住民スムーズに乗車できないという状況になっている。

本論文の目的は、江ノ電がなぜこんなに混雑しているのかを調べ、その混雑状況を改善できる案を模索し、提案することである。

まず混雑理由を考えるため、鎌倉に向かう観光客の推移を調べた。最近では多くのメディアに取り上げられることが多く、鎌倉だけでなく江ノ島への観光も増えているので藤沢駅から江ノ電に乗る人も増えていることが分かった。藤沢市の人口が増えて定期利用している人も多くなり、定期利用、定期外利用共に増えているため総体的に江ノ電の利用者が増えている。次に混雑状況の改善案だが鎌倉市は2017年のゴールデンウィークのある1日を対象に地元優先乗車の実証実験を行ったが、結果として実験は行われる状況には至らなかった。アンケート調査による利用状況を調べた結果、臨時のバスが出ているにもかかわらずその情報を知らない人が多いことが分かった。バスを活用したいが、長期休暇時は一般道路も混雑するので道路混雑状況の改善案を提案した。しかし混雑状況解消のためには多くの土地が必要になったり、新たな道路を開通させたりなどの課題がある。そのため目的の江ノ電の駅に早く着くように他ルートからのアプローチを提案した。